

第2期練馬区子ども・子育て支援事業計画 実施状況(令和3年度)

1 子どもと子育て家庭の支援の充実

(1)妊婦健康診査

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		人	5,896	5,852	5,830	5,802	5,778
		回	65,856	65,366	65,122	64,810	64,543
【目標】供給量		-	実施場所 ...都内契約医療機関等 検査項目 ...体重、血圧、尿、その他医学的検査 実施回数および実施時期 ...14回(妊娠週数に応じて実施)				
利用実績		人	5,361	5,273			
		回	61,642	62,574			
達成率	対 需要量見込み	-	90.9%	90.1%			
		-	93.6%	95.7%			
	対 【目標】供給量	-	-				
		-	-				

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み(人)	91.3%
	対 需要量見込み(回)	96.9%

主管課：健康推進課

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

妊娠届出数の減少に伴い、利用実績(人)は令和2年度と比較して減少したが、利用実績(回)は増加した。

(今後の取組と方向性)

継続して実施していく。

(2)こんには赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問事業)

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		人	5,468	5,447	5,460	5,479	5,485
【目標】供給量		-	実施体制 ... 配慮が必要な家庭：常勤保健師が訪問指導 上記以外の家庭：委託助産師等が訪問指導 委託助産師数 ...年間約130家庭に対し1名の割合で配置				
訪問実績		人	4,393	4,501			
達成率	対 需要量見込み	-	80.3%	82.6%			
	対 【目標】供給量	-	-				

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	82.1%
	対 【目標】供給量	-

主管課：健康推進課

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

令和2年度よりも出生数は減少しているが、訪問実績は増加した。

(今後の取組と方向性)

コロナ禍以降の支援として、乳児のいる家庭への訪問は孤立化を防ぎ虐待防止の観点からも大変重要な事業である。継続して行っていく。

(3) 妊娠・子育て相談員、すくすくアドバイザー(利用者支援事業)

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		か所	12	12	12	12	12
【目標】供給量(実施か所数)		か所	12	12	12	12	12
【実績】供給量(実施か所数)		か所	12	12			
内訳	妊娠・子育て相談員	か所	7	7			
	すくすくアドバイザー	か所	5	5			
【参考】相談件数		件	10,510	12,441			
達成率	対 需要量見込み	-	100.0%	100.0%			
	対 【目標】供給量	-	100.0%	100.0%			

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	100.0%
	対 【目標】供給量	100.0%

主管課: 子育て支援課、子ども家庭支援センター、健康推進課

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

区役所および4か所の子ども家庭支援センターに「すくすくアドバイザー」を配置し、子育てに関する「何でも相談」に対応している。子ども家庭支援センターでは、窓口での相談に加え、近隣施設での出張相談を実施するなど、より身近な場所で相談しやすい環境整備に取り組んでいる。

妊娠・子育て相談員による妊娠届出時の面談実施率は97.1%であった。

(今後の取組と方向性)

引き続き、区役所および4か所の子ども家庭支援センターに「すくすくアドバイザー」を配置し、子育てに関する「何でも相談」に対応する。

また、保健相談所に配置している妊娠・子育て相談員による妊娠届出時の面談は、その後の支援につながるもので、今後も継続して実施していく。

(「1. 子どもと子育て家庭の支援の充実」における質的向上に関する評価)

利用者支援事業は、電話やメールによる相談の実施に加え、区ホームページやツイッターで発信を行うなど、広く区民へ事業の周知を図り、より相談しやすい環境の整備に努めている。

2 子どもの教育・保育の充実

(1) 子育てのひろば(地域子育て支援拠点事業)

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		人回	304,640	305,884	308,492	306,263	304,660
【目標】供給量(実施か所数)		か所	28	29	30	30	30
【実績】供給量(実施か所数)		か所	27	26			
【参考】利用実績		人回	158,280	198,254			
達成率	対 需要量見込み	-	-	-			
	対 【目標】供給量	-	96.4%	89.7%			

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	-
	対 【目標】供給量	86.7%

主管課: 子ども家庭支援センター

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

令和3年度は1か所開設を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により延期した。また、令和4年3月31日に1か所閉室した。

利用実績は、コロナ禍により利用が減少した令和2年度と比較して増加した。

(今後の取組と方向性)

親子が気軽に交流できる子育てのひろばの拡充に向けて、民設子育てのひろばを新たに公募する。

(2) 3号認定(0歳)

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		人	1,563	1,587	1,618	1,636	1,640
【目標】供給量(定員数)		人	1,626	1,677	1,720	1,764	1,769
【実績】供給量(定員数)		人	1,616	1,685			
内訳	保育所	人	1,278	1,332			
	地域型保育事業	人	225	217			
	その他	人	113	136			
達成率	対 需要量見込み	-	103.4%	106.2%			
	対 【目標】供給量	-	99.4%	100.5%			

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	102.7%
	対 【目標】供給量	95.3%

主管課: 保育課

(参考) 3号認定(0歳児) 令和4年4月1日時点の実績値

		単位	令和4年度
定員数		人	1,704
内訳	保育所	人	1,365
	地域型保育事業	人	212
	その他	人	127

(3) 3号認定(1・2歳)

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		人	6,517	6,732	6,983	7,040	7,045
【目標】供給量(定員数)		人	6,878	7,029	7,135	7,303	7,338
【実績】供給量(定員数)		人	6,885	7,078			
内訳	保育所	人	5,609	5,733			
	地域型保育事業	人	883	877			
	その他	人	393	468			
達成率	対 需要量見込み	-	105.6%	105.1%			
	対 【目標】供給量	-	100.1%	100.7%			

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	100.5%
	対 【目標】供給量	96.5%

主管課: 保育課

(参考) 3号認定(1・2歳) 令和4年4月1日時点の実績値

		単位	令和4年度
定員数		人	7,210
内訳	保育所	人	5,849
	地域型保育事業	人	874
	その他	人	487

(4) 2号認定(3～5歳)

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		人	9,600	9,692	9,806	9,909	10,110
【目標】供給量(定員数)		人	10,332	10,742	11,285	11,631	11,781
【実績】供給量(定員数)		人	10,312	10,814			
内訳	保育所	人	8,714	9,153			
	地域型保育事業	人	27	32			
	練馬こども園	人	1,419	1,559			
	その他	人	152	70			
達成率	対 需要量見込み	-	107.4%	111.6%			
	対 【目標】供給量	-	99.8%	100.7%			

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	107.0%
	対 【目標】供給量	91.8%

主管課: 保育課

(参考) 2号認定(3～5歳) 令和4年4月1日時点の実績値

		単位	令和4年度
定員数		人	11,336
内訳	保育所	人	9,566
	地域型保育事業	人	35
	練馬こども園	人	1,669
	その他	人	66

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

区では、これまで待機児童対策として「待機児童ゼロ作戦」などにより全国トップクラスとなる定員増を行ってきた。令和4年4月においても認可保育所の新規整備等により673人の定員を拡大し、令和4年4月時点の待機児童数は2年連続で0人となった。

(今後の取組と方向性)

待機児童ゼロを継続するために必要な供給量を確保できるよう、令和5年4月に向けて認可保育所を整備し、410人の定員を拡大する計画である。

(5) 1号認定(3～5歳)

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み	人	9,341	9,108	8,916	8,850	8,909
【目標】供給量(定員数)	人	10,822	10,822	10,822	10,822	10,822
【実績】供給量(定員数)	人	10,762	10,692			
達成率	対 需要量見込み	-	115.2%	117.4%		
	対 【目標】供給量	-	99.4%	98.8%		

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	120.0%
	対 【目標】供給量	98.8%

主管課:学務課

(6) 幼稚園預かり保育

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み	人日	387,785	391,456	395,224	398,051	401,355
【目標】供給量(定員数)	人日	548,761	553,261	557,761	557,761	557,761
【実績】供給量(定員数)	人日	627,832	638,964			
【参考】利用実績	人日	276,307	302,991			
達成率	対 需要量見込み	-	161.9%	163.2%		
	対 【目標】供給量	-	114.4%	115.5%		

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	159.2%
	対 【目標】供給量	114.6%

主管課:学務課、こども施策企画課

「練馬こども園」の実施状況

	単位	令和2年度	令和3年度
認定園数	園	22	25
定員数	人	1,429	1,569

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

区独自の制度として、11時間の預かり保育(標準型)を行う私立幼稚園を、練馬型幼保一元化施設「練馬こども園」として認定し、拡大に取り組んでいる。

令和元年度から、短時間型(9時間以上11時間未満)および低年齢型(0～2歳児)を創設し、さらなる拡大に努めている。令和3年度は、新たに3園を認定し、令和3年度末時点で25園認定(低年齢型3園のうち2園は標準型としている園と重複認定)。実園数は23園となった。

(今後の取組と方向性)

保護者の就労形態やニーズの多様化に応えるため、引き続き、各私立幼稚園と協議を重ね、練馬こども園の拡大に努めていく。

(7)一時預かり事業

(保育園一時預かり、乳幼児一時預かり、ファミリーサポート事業等)

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み	人日	91,341	91,572	92,622	92,114	92,014
【目標】供給量(定員数)	人日	115,372	115,372	115,372	115,372	115,372
【実績】供給量(定員数)	人日	80,947	82,010			
〔参考〕利用実績	人日	35,779	51,955			
達成率	対 需要量見込み	-	88.6%	89.6%		
	対 【目標】供給量	-	70.2%	71.1%		

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	89.1%
	対 【目標】供給量	71.1%

主管課: 保育課、子ども家庭支援センター

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

利用実績は、コロナ禍により利用が減少した令和2年度と比較して増加した。
乳幼児一時預かりの利用実績は、コロナ禍前と同程度に回復した。
保育園一時預かりの利用実績は、依然としてコロナ禍の影響により低いものの、令和2年度と比較して若干増加した。
ファミリーサポート事業の利用実績は令和2年度と比較して増加した。令和3年度から多胎児が同時に利用する場合に、1人分の料金で事業を利用することができる「多胎児ファミサポ利用券」を交付する事業を開始している。
子どもトワイライトステイ(夜間一時保育事業)は、児童養護施設を含む3施設で実施している。

(今後の取組と方向性)

乳幼児一時預かりは、キャッシュレス決済の導入や区西部地域の開設に向け検討する。
保育園一時預かりは、新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れ可能な園に限られている。各施設の状況を踏まえ、供給量増に努める。
ファミリーサポート事業は、引き続き、軽度障害児受け入れや多胎児ファミサポ利用券交付事業を実施していく。
子どもトワイライトステイは、令和4年度より、多胎児家庭の負担を軽減するため、利用料および送迎料を多胎児1人あたり1/2に減額した。

(8)子どもショートステイ(子育て短期支援事業)

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み	人日	2,157	2,143	2,121	2,106	2,111
【目標】供給量(定員数)	人日	4,380	4,380	4,380	4,380	4,380
【実績】供給量(定員数)	人日	5,100	7,595			
〔参考〕利用実績	人日	1,646	1,883			
達成率	対 需要量見込み	-	236.4%	354.4%		
	対 【目標】供給量	-	116.4%	173.4%		

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	359.8%
	対 【目標】供給量	173.4%

主管課: 子ども家庭支援センター

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

施設型3か所および家庭型9家庭で実施し、利用実績は令和2年度と比較して増加した。

(今後の取組と方向性)

供給量(定員数)が需要量見込みや利用実績を上回る状況にあるが、養育に不安を抱える方の利用が全体の8割と高く、児童虐待対応で緊急的に使用することもあることから、令和4年度より聖オディリアホーム乳児院の定員を2名から4名に、家庭型を9家庭から12家庭に拡大した。また、多胎児家庭の負担を軽減するため、子どもショートステイ事業の利用料および送迎料を多胎児1人あたり1/2に減額した。

(9) 延長保育事業

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		人	6,442	6,383	6,350	6,311	6,312
【目標】供給量(定員数)		人	9,895	10,522	11,398	12,217	12,629
【実績】供給量(定員数)		人	9,929	10,696			
【参考】利用登録実績(4月1日現在)		人	1,199	905			
達成率	対 需要量見込み	-	154.1%	167.6%			
	対 【目標】供給量	-	100.3%	101.7%			

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	169.5%
	対 【目標】供給量	84.7%

主管課：保育課

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

認可保育所の整備等に合わせ、延長保育事業の定員拡大を進めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用登録実績は、令和2年度に引き続き減少傾向となっている。

(今後の取組と方向性)

利用ニーズを踏まえながら、必要な定員数を確保していく。

(10) 病児・病後児保育事業

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		人日	14,739	14,617	14,546	14,466	14,490
【目標】供給量(定員数)		人日	16,640	16,640	16,640	16,640	16,640
【実績】供給量(定員数)		人日	17,420	17,420			
【参考】利用実績		人日	2,348	6,813			
達成率	対 需要量見込み	-	118.2%	119.2%			
	対 【目標】供給量	-	104.7%	104.7%			

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	120.2%
	対 【目標】供給量	104.7%

主管課：保育課

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、利用実績は令和2年度と比較して増加した。また、令和2年度より全施設においてネット予約システムを導入しており、利用者の利便性は向上している。

(今後の取組と方向性)

これまで定員数の増加や新規開設等を行い、目標とする供給量は確保している。新型コロナウイルス感染症の感染終息後における利用ニーズを分析し、適切な供給量となるよう検討していく。

(11)多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		人	14	17	17	17	17
【目標】供給量(巡回支援員数)		人	14	17	17	17	17
【実績】供給量(巡回支援員数)		人	25	26			
達成率	対 需要量見込み	-	178.6%	152.9%			
	対 【目標】供給量	-	178.6%	152.9%			

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	152.9%
	対 【目標】供給量	152.9%

主管課：保育課、保育計画調整課

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

各保育施設への巡回支援を実施しており、区内保育施設の増加に対応できるよう、巡回支援員を配置している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に引き続き各施設へ事前調査票の提出を依頼し、巡回時間の短縮に努めながら、対象全施設への助言・指導を行った。

(今後の取組と方向性)

巡回支援員数の供給量目標は達成している。
区内保育施設が増加する中、引き続き、区全体の保育サービスの維持・向上を図る。

(「2 子どもの教育・保育の充実」における質的向上に関する評価)

民間活力の活用の推進により、保育内容の多様化と共に、病児・病後児保育や延長保育など、高度化・多様化するサービスに応じたきめ細やかなサービスの拡充が実現できており、保育サービスの向上につながっている。

区全体の障害児の受入人数の拡大および障害児保育サービス向上のため、私立保育所に対する障害児保育巡回指導を開始した。医療的ケア児については、区立直営園8園を指定し、各園1名の枠を設けて優先的に受け入れることとした。

また、練馬こども園の推進により、より一層教育・保育サービスの利用の選択の幅を広げることができている。

待機児童対策として「待機児童ゼロ作戦」などにより定員増を行ってきた。昨年度は認可保育所の新規整備等により673人の定員を拡大し、令和4年4月時点の待機児童数は2年連続で0人となった。また、区立保育園の委託化や私立認可保育所の新設に伴って、延長保育事業を拡充した。

令和3年度に利用者アンケートを行った事業について、子育てのひろばびよびよは98%が「大変満足・満足」、民設子育てのひろばは99%が「大変満足・満足」、ファミリーサポート事業は89%が「大変満足・満足」、乳幼児一時預かり事業は97%が「大変満足・満足」と感じているという結果がでている。

3 子どもの成長環境の充実

(1) 放課後児童健全育成事業(学童クラブ)

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需要量見込み		人	6,027	6,584	7,162	7,540	7,672
内訳	低学年	人	6,027	6,584	7,162	7,540	7,672
	高学年	人	790	762	773	788	802
【目標】供給量(受入枠)		人	6,106	7,038	7,466	8,205	8,715
【実績】供給量(受入枠)		人	6,126	7,229			
〔参考〕受入数(4月1日現在)		人	5,735	6,217			
達成率	対 需要量見込み	-	101.6%	109.8%			
	対 【目標】供給量	-	100.3%	102.7%			

当面の間、低学年への対応を優先する。そのため、需要量見込みは低学年のみとする(高学年の需要量見込みは、網掛け部分に参考値として表記する)。

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	94.2%
	対 【目標】供給量	82.9%

主管課：子育て支援課

〔参考〕令和4年4月1日時点の実績値

	単位	令和4年度
受入上限(ねりっこプラスを含む)	人	7,857
受入数(ねりっこプラスを含む)	人	6,534

「ねりっこクラブ」の実施状況

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施校数	校	27	37	45
受入上限	人	2,480	3,393	4,103

(事業の進捗に関するコメント)

(令和3年度の実施状況)

すべての小学生に安全かつ充実した放課後や長期休業中の居場所を提供するため、平成28年度よりねりっこクラブを開始し、令和3年度までに37校で実施した。

(今後の取組と方向性)

令和4年4月から、ねりっこクラブを新たに8校で開始している。また、ねりっこ学童クラブを入会待機となった児童を対象に、ひろば事業終了後のひろば室を活用して、学童クラブに準ずる安全な居場所を提供する「ねりっこプラス」を開始し、受入枠の拡大を図っている。

令和5年4月には、ねりっこクラブを新たに7校で開始し、今後も早期の全校実施を目指して取り組む。

(「3 子どもの成長環境の充実」における質的向上に関する評価)

ねりっこクラブでは、学童クラブの受入枠の拡大、長期休業中も含めたひろば事業の実施に加え、学童クラブとひろば事業の児童の交流の機会の拡大を図っている。子どもたちが安全で充実した放課後を過ごすことができるよう、区のコーディネーターも積極的な支援を行うよう努めている。また、小学校との連携を強化し、学校施設を効率的に活用することで、放課後における子どもたちの活動スペースの拡大が進んでいる。引き続き、ねりっこクラブの全校実施に向けた取組を推進する。

また、看護師による医療的ケアが必要な障害のない児童を、各学童クラブ1名優先的に受け入れることとした。

令和3年度の利用者アンケートでは、区立学童クラブは95%が「満足・どちらかといえば満足」、ねりっこ学童クラブは94%が「満足・どちらかといえば満足」と感じているという結果がでている。

4 計画全体の実施状況

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
達成率	対 需要量見込み	-	122.4%	131.0%			
	対 【目標】供給量	-	106.2%	108.6%			

【最終年度に対する】 達成率	対 需要量見込み	129.7%
	対 【目標】供給量	104.1%

上記の達成率は、目標値を設定している事業のすべての項目の達成率の平均値。